

第2次袋井市総合計画 「後期基本計画」策定に向けた 社会潮流の整理

令和元年11月
袋井市

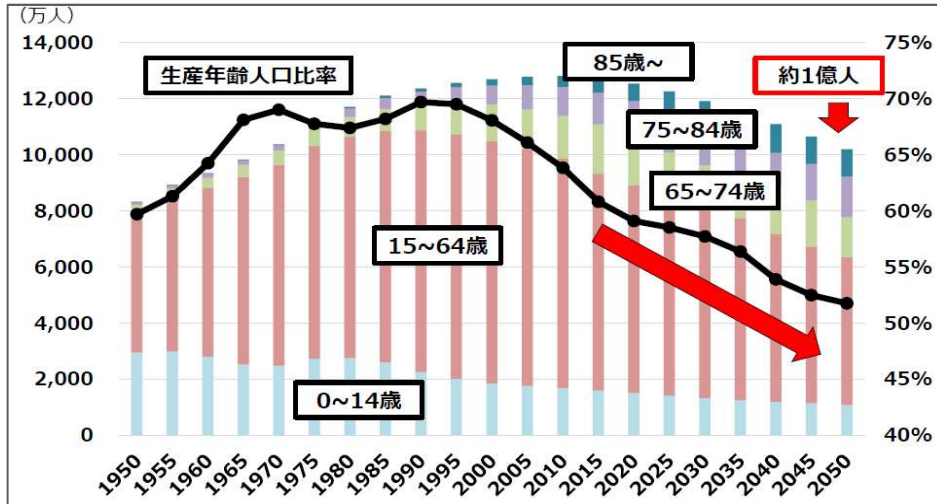
(企画財政部 企画政策課 企画係)

社会潮流について

○総合計画「後期基本計画」策定に向け、我が国全体の社会的潮流を整理

① 将来人口予測

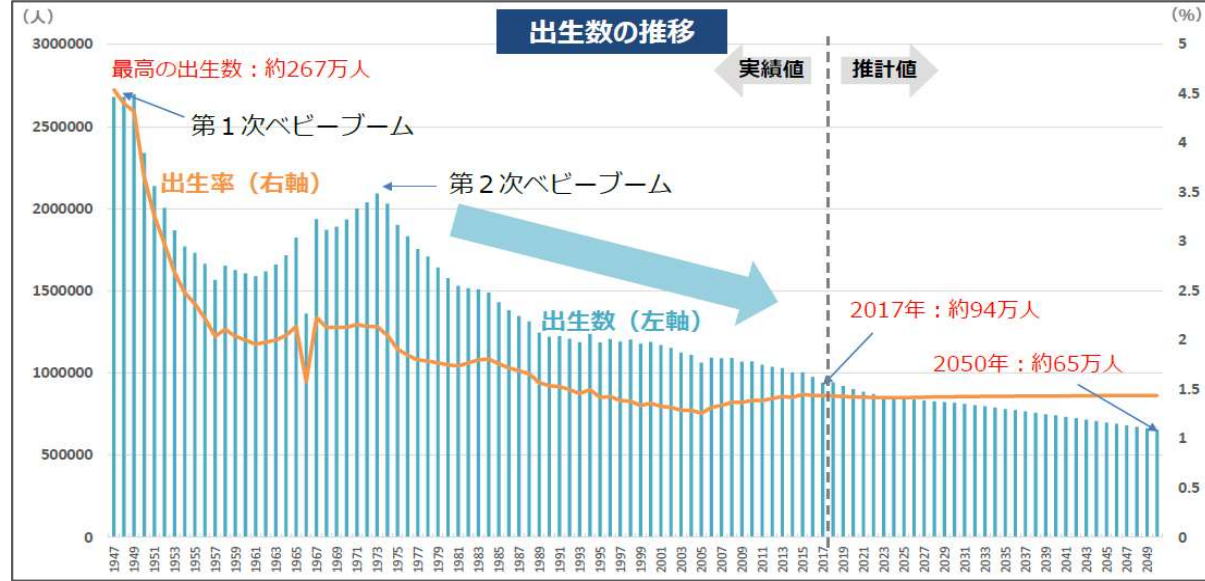
総人口は減、少子高齢化が進行



② 少子化の進行

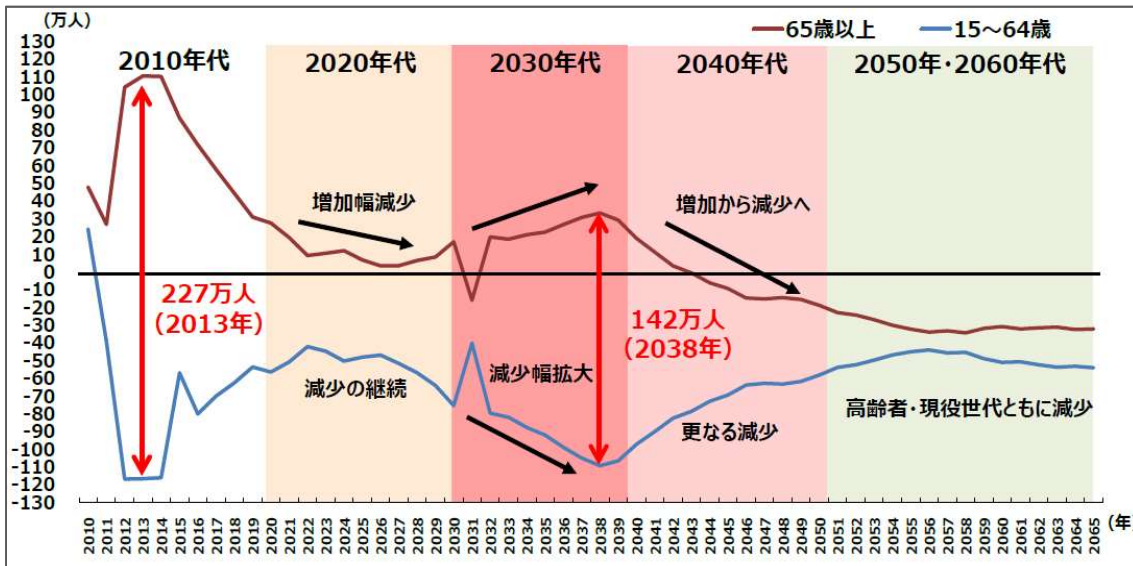
出生数・率は今後も継続して減少

(出典) 経済産業省資料



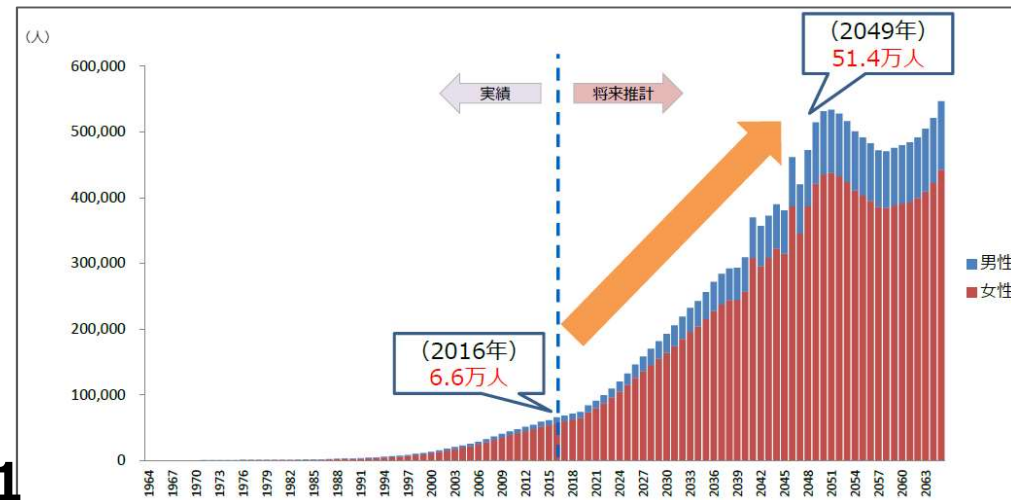
③ 高齢者と現役世代の推移予測

高齢者増加幅は落ち着くも現役世代減少が加速



④ 100歳以上の高齢者の推移

2050年ごろには高齢者数が50万人を超える見込み

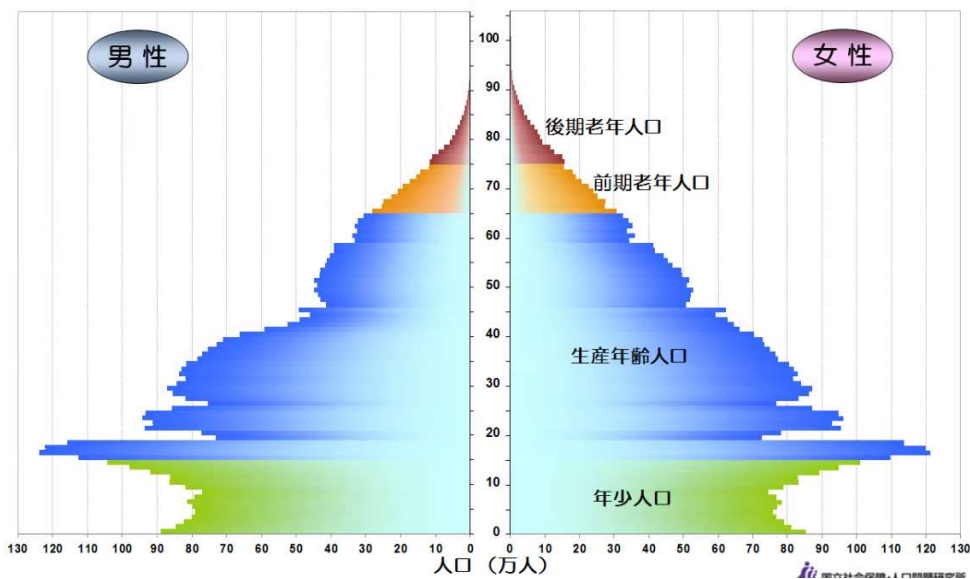


社会潮流について

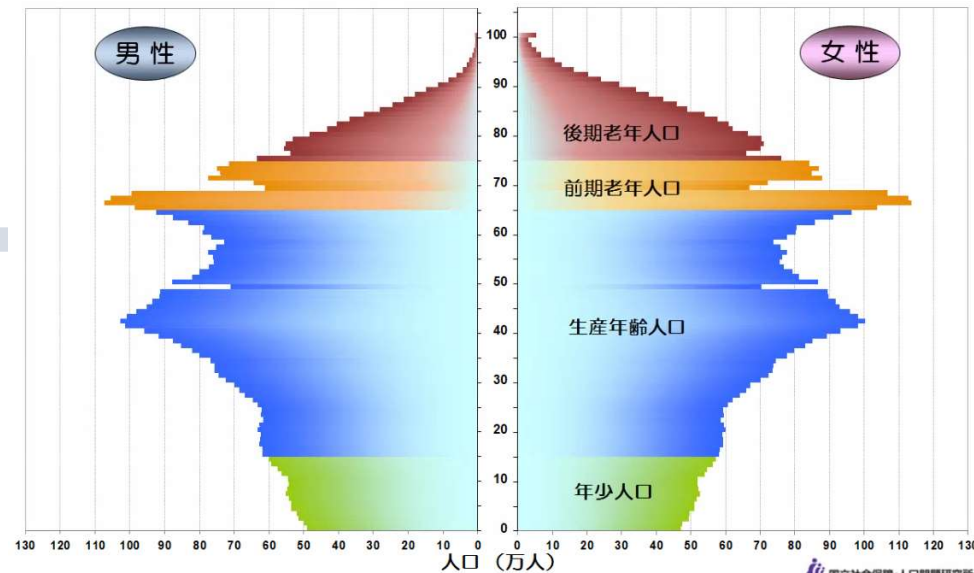
⑤人口構成の推移

ピラミット型⇒つりがね型⇒つぼ型に変化

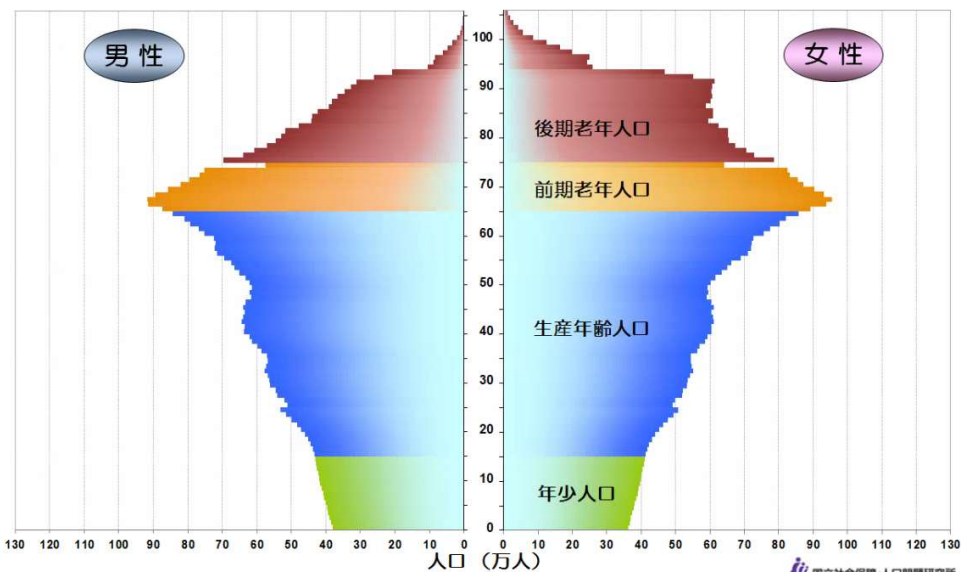
1965



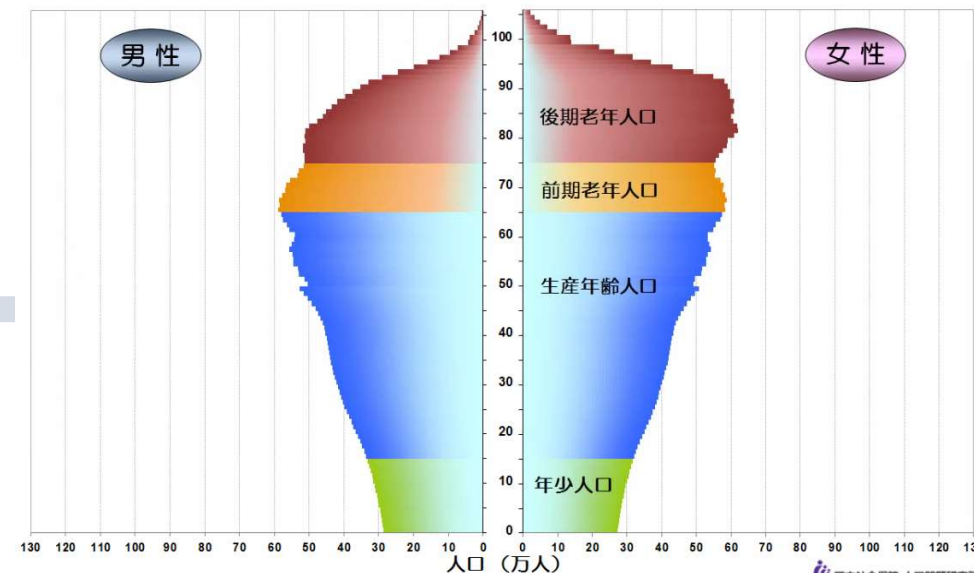
2015



2040



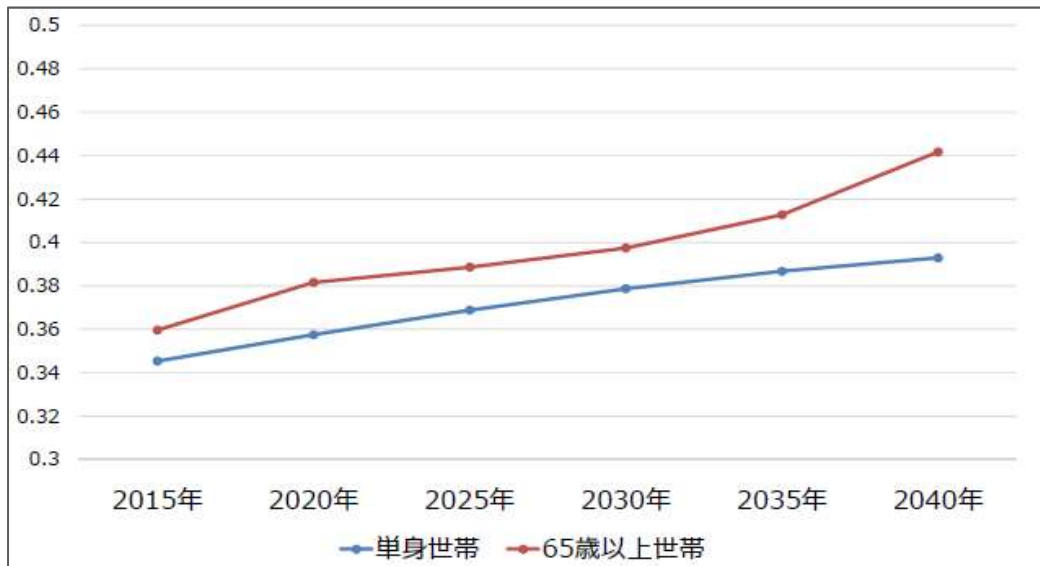
2065



社会潮流について

⑥ 単身世帯・高齢者世帯割合の推移

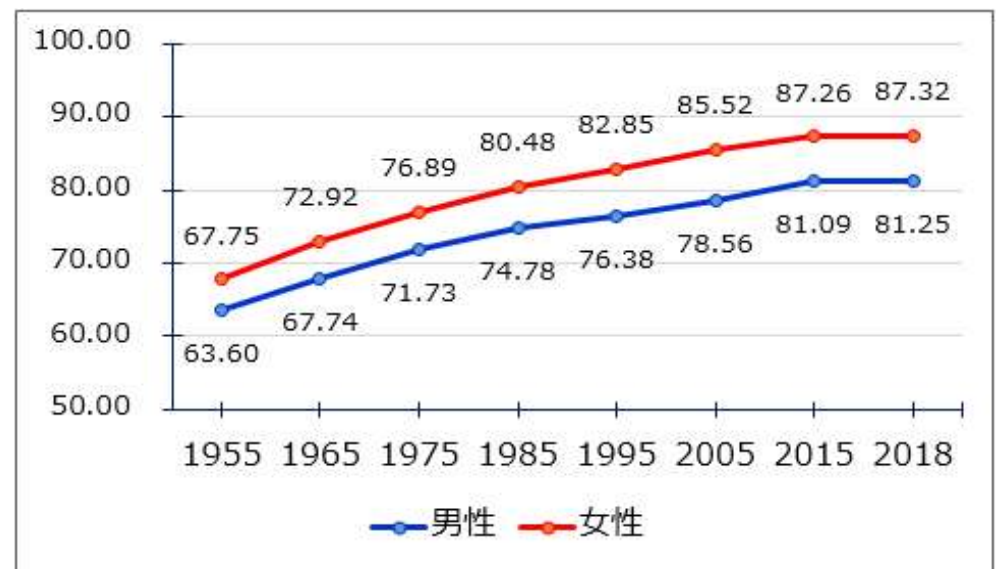
単身世帯・高齢者世帯は今後も増加し約4割に



⑦ 平均寿命の推移

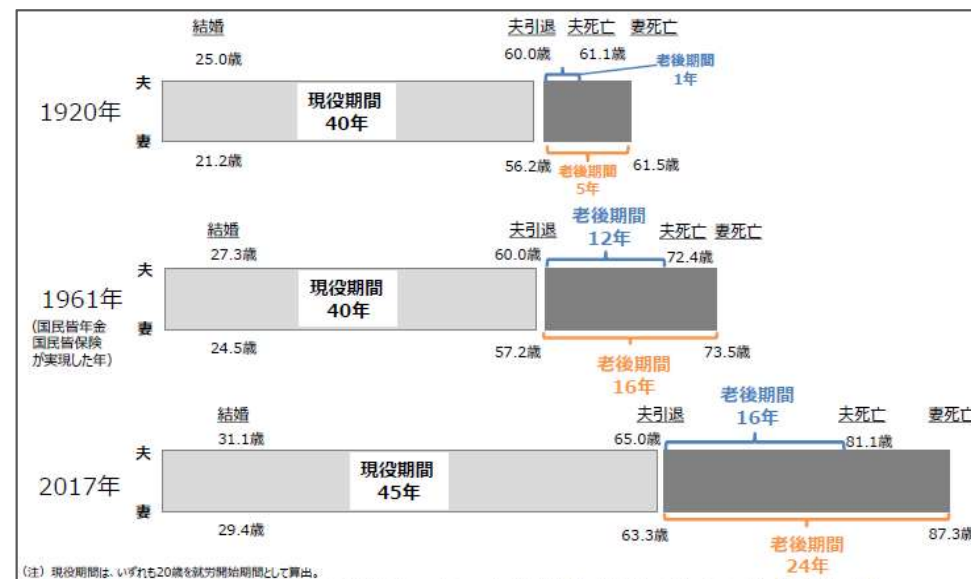
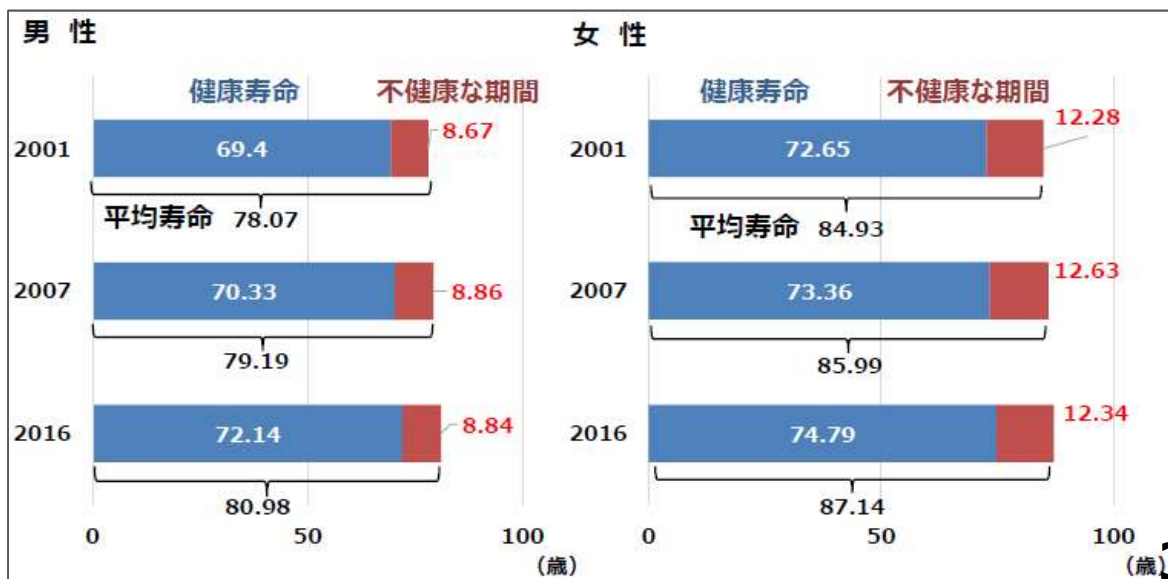
60年の間に約20年も延伸

(出典) 経済産業省・国土交通省資料



⑧ 平均寿命・健康寿命の推移

平均寿命と連動し健康寿命も延伸 (ただし不健康期間は横ばいで推移) ・老後期間も延伸

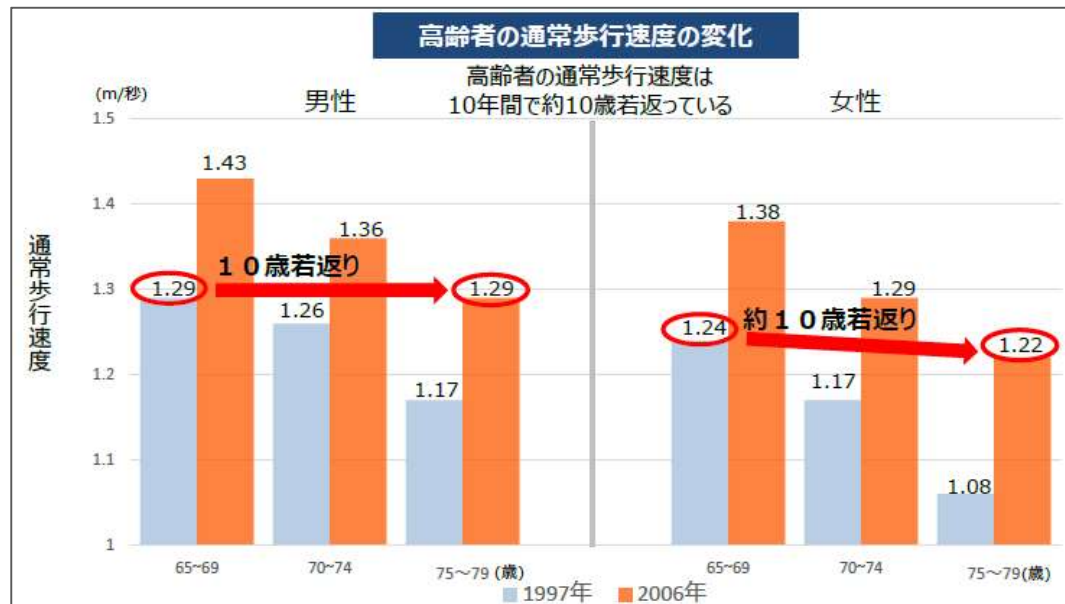
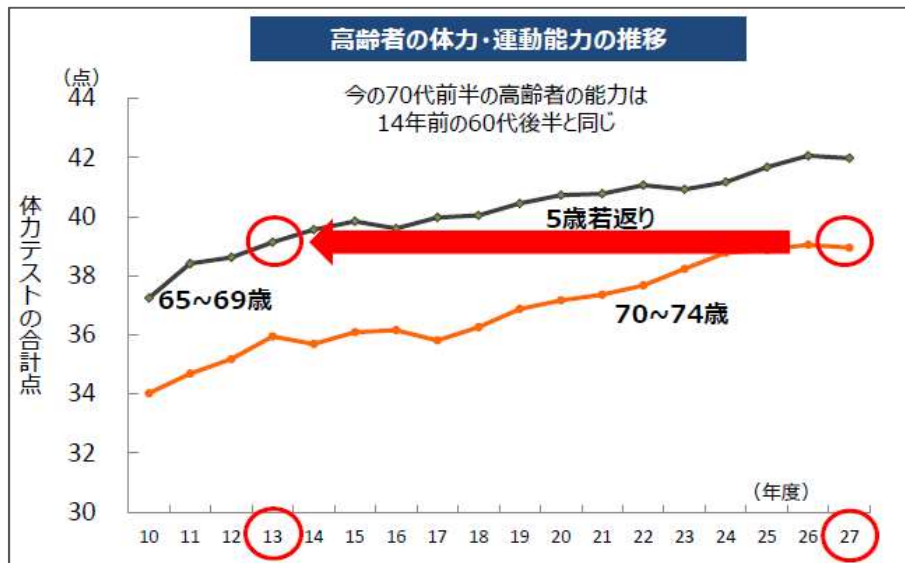


社会潮流について

⑨ 高齢者の体力・運動能力

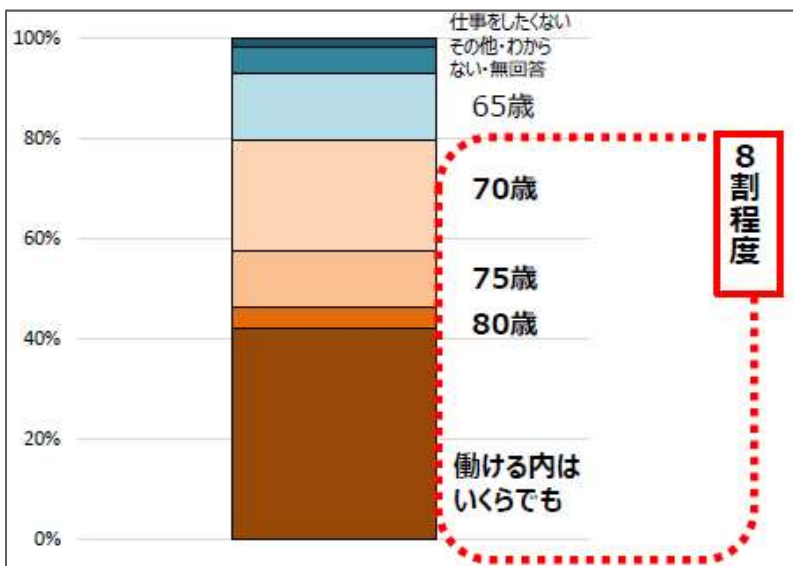
高齢者の若返りが進行

(出典) 経済産業省・国土交通省資料



⑩ 高齢者の就労希望 (平成26年度調査)

70歳以降も働きたい高齢者が8割程度



⑪ 高齢者の就業者数・就業率

65~69歳の就業率は上昇傾向に



社会潮流について

⑫若い世代の人口

今後、若者（20～39歳）の人口減少が顕著に

日本の年齢別人口推移

2015年→2030年の増加率[%]	
総数	-6.3
0～19歳	-17.0
20～39歳	-16.5
40～64歳	-6.6
65～74歳	-18.6
75～84歳	28.1
85～歳以上	68.1

都市別_若者（20～39歳）の推計

	2015年[人]	2030年[人]	増加率[%]
(東京23区)	2,692,115	2,510,239	-6.8
大阪市	703,923	625,463	-11.1
名古屋市	578,118	520,619	-9.9
札幌市	467,507	375,840	-19.6
福岡市	426,679	390,633	-8.4
広島市	280,989	252,085	-10.3
仙台市	283,640	219,803	-22.5

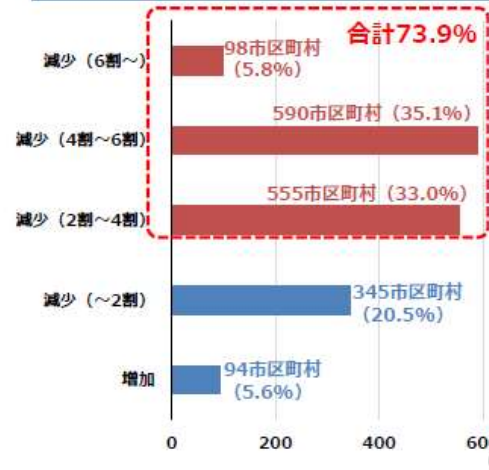
都市別_高齢者（75歳以上）の推計

	2015年[人]	2030年[人]	増加率[%]
(東京23区)	981,029	1,281,793	30.7
大阪市	324,157	429,636	32.5
名古屋市	263,448	373,138	41.6
札幌市	226,695	391,789	72.8
福岡市	145,407	252,874	73.9
広島市	127,204	206,754	62.5
仙台市	115,023	196,270	70.6

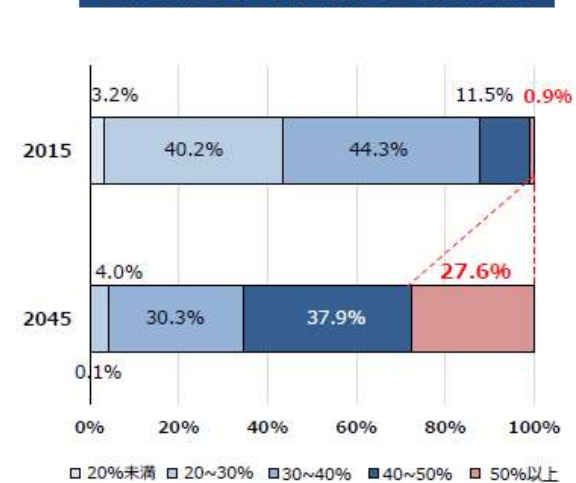
⑬地区別に見た将来人口

2045年までに7割超の市区町村で人口が2割以減

2045年における市区町村人口の変化分 (対2015年比)



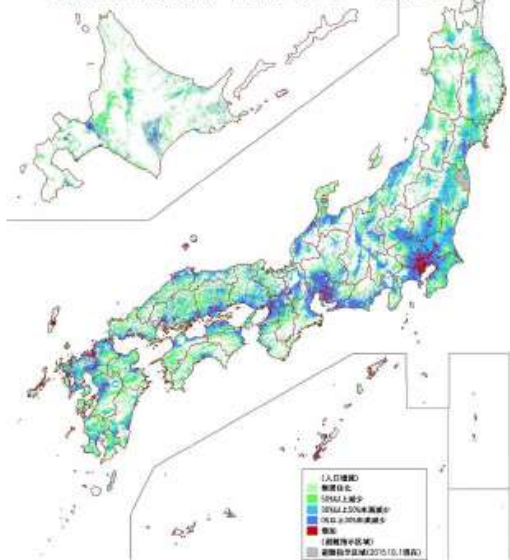
65歳以上人口割合別市区町村の割合



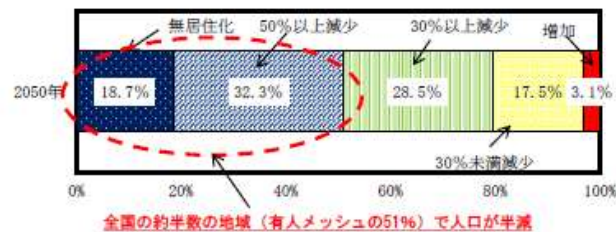
⑭人口の低密度化と地域的偏在の進行

一部を除き人口が増加する地域は都市部のみに

将来の人口増減状況 (1kmメッシュベース、全国図)

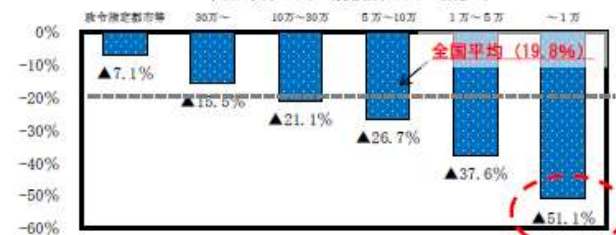


人口増減割合別の地点数 (1kmメッシュベース)



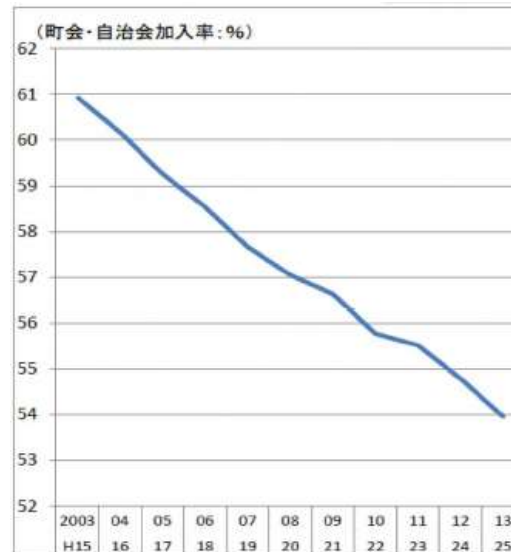
全国の約半数の地域 (有人メッシュの51%) で人口が半減

市区町村の人口規模別の人口減少率



⑮都市部の自治会加入率の低下

都市部をはじめ自治会加入率は大きく低下



社会潮流について

⑯ 正規・非正規雇用者数の推移

非正規雇用は増加し約4割に



⑰ 副業希望者の推移

今後も増加する傾向



⑱ 女性の就労者数・割合の推移

就業率は上昇傾向で約5割に



⑲ 共働き世帯の推移

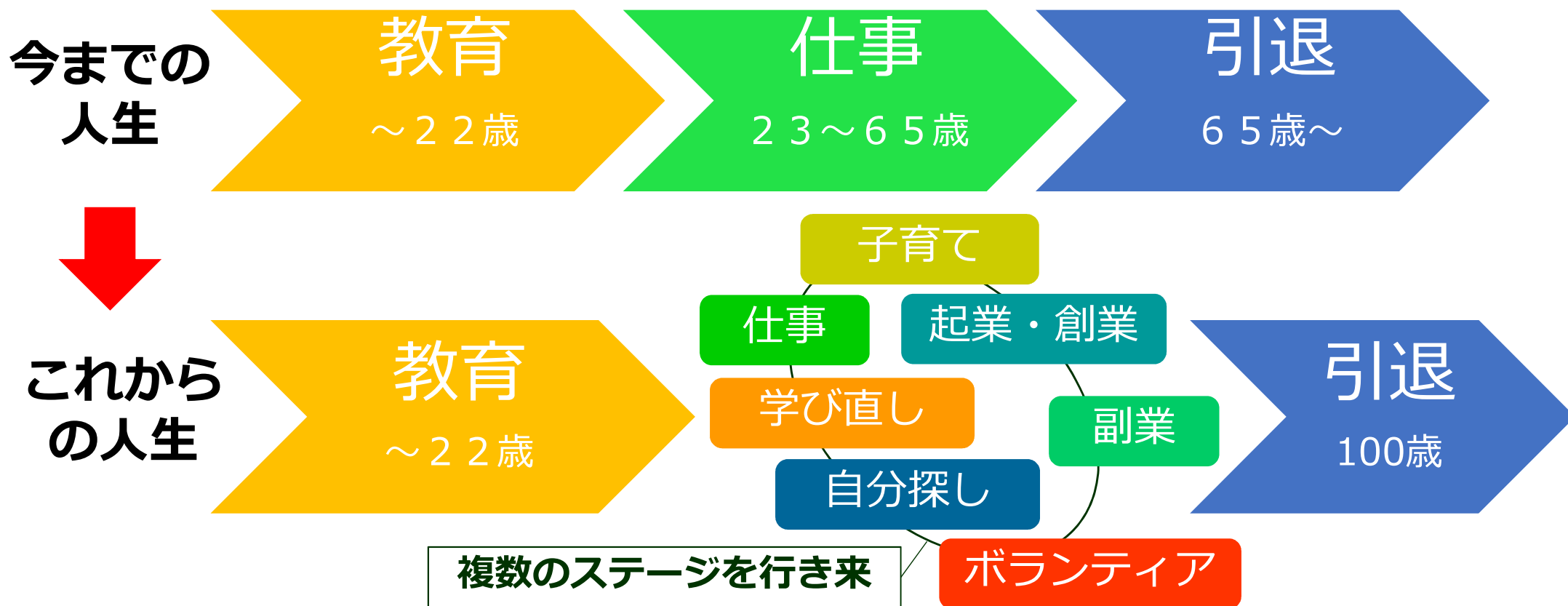
共働き世帯は1,000万世帯を突破、専業主婦世帯の倍に



社会潮流について

②0 人生100年時代の到来

人生のマルチステージ化により人生設計・キャリア形成の選択肢が多様化

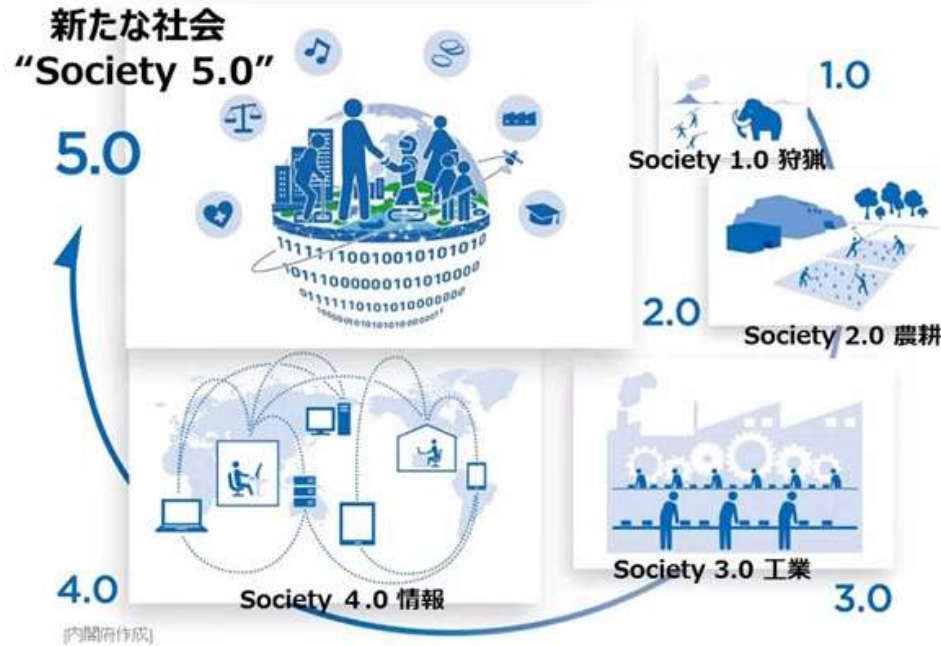


(人生100年時代に必要なこと)

- 健康や良好な人間関係
- 仕事や役に立つスキル
- 変化に対応する能力

社会潮流について

②「Society 5.0」社会の到来 技術革新で社会や暮らしは大きく変革



(出典) 経済産業省・内閣府資料

情報通信技術の今後の見通し



社会潮流について

② SDGs (持続可能な開発目標)の取組

地球上の誰一人として取り残さないことを目指す (2016~2030)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

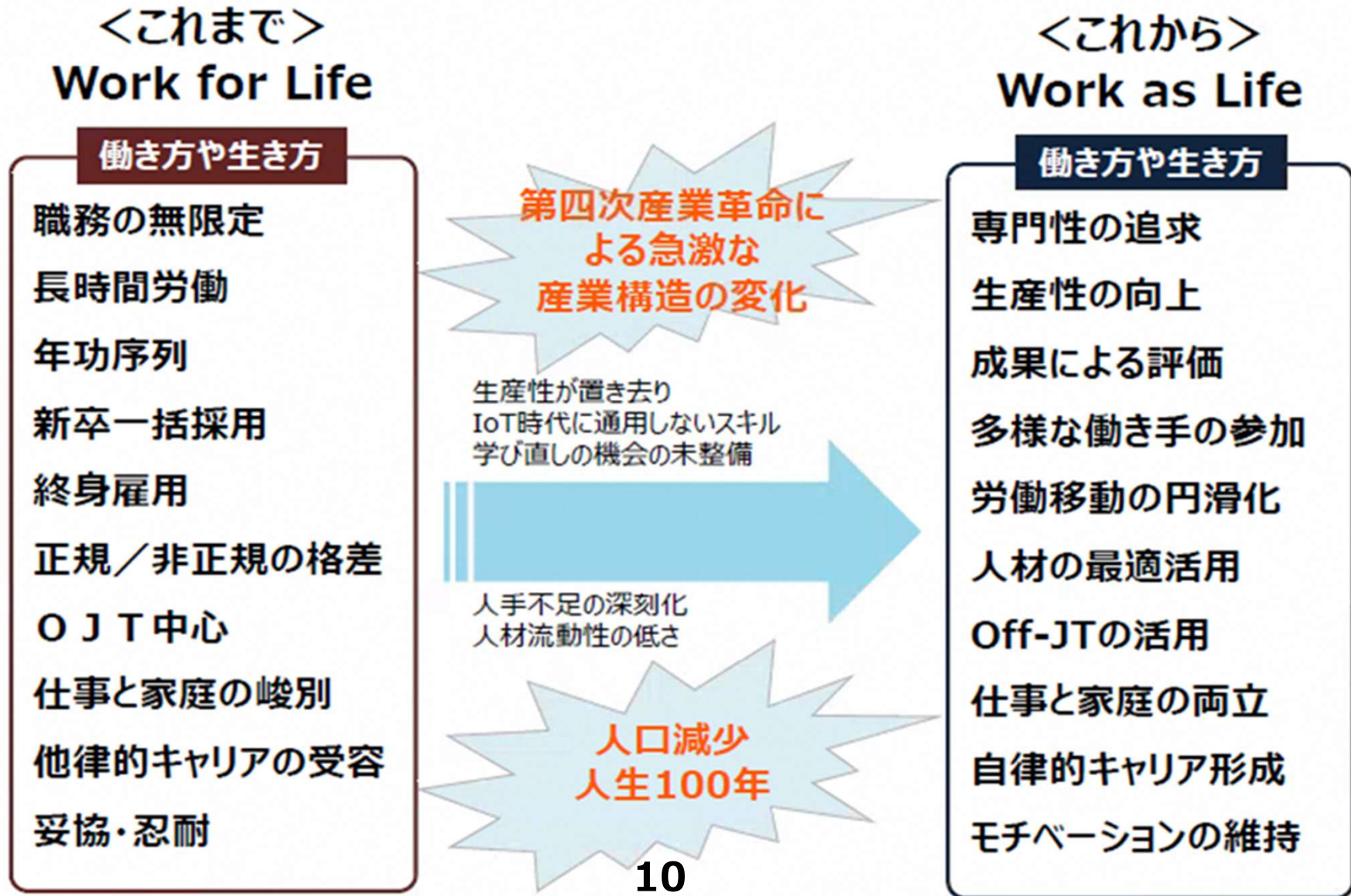


②これからの働き方や生き方の変化

Society 5.0社会や人生100年時代の到来で「個人が幸せや生きがいを感じられる人間中心の社会」に

近年の働き方や生き方の変化

(出典) 経済産業省資料



- ①人口減少・少子高齢化は進展
- ②健康寿命の延伸で100年生きる時代に
- ③年齢や性別、国籍に関係なく生涯活躍する時代
- ④ICTの技術発展で高い利便性と快適さを得られる時代

以上を踏まえると、

人間中心の「楽しい」「嬉しい」「心地良い」などの価値軸が一番大事にされる時代になっていく